

表現に力ありや

—「水俣」プロデューサー、語る—

この映画は「沖縄列島」(監督東陽一)や「水俣—患者さんとその世界—」(監督土本典昭)のプロデューサー高木隆太郎の仕事を通して、プロデューサーの仕事进行を明らかにし、これから映画製作を目指す若者にプロデューサーの心を伝える作品です。

高木が映画の世界に入ったのは1960年の岩波映画製作所。その時多才な人材が新しい映像表現を求めていました。中でも黒木和雄、土本典昭、小川紳介、東陽一等は自分たち表現を実現するためにもがいていました。プロデューサー高木隆太郎もその一人でした。

高木は「借金で映画を作り、映画で借金を返す」をスローガンに、名作「水俣・患者さんとその世界」をはじめ水俣シリーズ12本を自主製作し上映活動を展開します。

高木の語りと関係者のインタビューと残された当時の作品映像、そして時代を記録した資料映像を織り交ぜながら、彼の映画製作を今に甦らせていきます。

この映画は2011年より桂俊太郎さんが撮影していましたが、桂さんは2015年急逝しました。私たちは彼の残した映像を今完成させないと永遠に失われてしまうと考え、桂さんの遺志を受け継ぐ仲間と撮影を継続して完成させました。



インタビュー


高木隆太郎、西口清治、東陽一、津村義幸、重松良周、伊東秀志、石牟礼道子、渡辺京二、土本典昭、福元満治、有馬澄雄、柳田耕一他

プロデューサー：桂俊太郎・村山英世

スタッフ：井上実・阿部敏昭・石井香奈江・片岡希・黒澤道雄・中井正義・西嶋房宏・山本直史・矢澤拓男



製作：記録映画保存センター TEL:03(3222)4249

助成：文化庁文化芸術振興費補助金